

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年6月25日

【評価実施概要】

事業所番号	0176400315		
法人名	株式会社 ヤハタ		
事業所名	高齢者グループホーム 福福亭		
所在地	北海道留萌市大町2丁目9-15 (電話) 0164-43-1408		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年6月23日	評価確定日	平成21年6月29日

【情報提供票より】(平成21年5月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 16年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	11 人	常勤 9人, 非常勤 2人, 常勤換算	7.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	～ 全階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	29,000～36,000 円	その他の経費(月額)	9,000～15,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 200 円
	または1日当たり	1,200 円	

(4) 利用者の概要(5月25日現在)

利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	5名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 81歳	最低 72歳	最高 89歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	留萌セントラルクリニック・留萌市立病院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営理念の「利用者主体・張り合いを持って・笑いのある生活・ホームから外へ」をホーム長・管理者・職員が一丸となって実践している1ユニットのグループホームです。家族のホームへの来訪も多く、不安な点や意見、苦情等言い表せる機会を設け信頼関係が築かれている様子が伺えます。また、緊急時の災害に備えた夜間の防災訓練の実施や地域の行事参加で地元の人々との交流が行われ日ごろより地域の協力が得られるような取り組みが実施されています。利用者一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の下ごしらえや調理、掃除や洗濯物たたみ、散歩や買い物など役割や楽しみごと、気晴らしの支援が行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、市と連携した地域資源の活用について取り組みのさらなる推進が挙げられていましたが、市主催の会議参加でホーム情報の発信や包括支援センターとの情報交換、同業者との交流など連携した取り組みが行われています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) ホーム長、管理者、職員は、自己評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善を明確にし、ケアサービスの質の向上に取り組んでいます。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告されています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され、主な議題はホームの利用状況及びサービス提供体制加算について 夜間防災訓練と地域住民との協力体制について 金銭管理「預り証」発行について 認知症の理解や広報に関する活動について 水道光熱費の料金改定について など
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 日常的に家族の来訪が多く、日ごろの暮らしぶりや健康状態、家族の意見や不安、苦情等を気軽に相談したり、言い表せる機会を設けています。また、運営推進会議への参加の呼びかけやそこでの意見交換、定期的に発行する「瓦版福福亭」で利用者一人ひとりの生活の様子やホーム行事参加の様子など情報提供しています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 隣近所の人と気軽に声を掛けたり、立ち寄りたりできるような付き合いや町内会に加入で焼肉パーティーなどの町内会行事への参加や地域の防災訓練への参加、子供神輿など参加を通じて地元の人々との交流に取り組んでいます。また、高齢者や障がい者に関する制度の相談などを町内会、地域の福祉関係者などを通じて行っています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、ホーム独自の理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム長、管理者、職員は、日常業務を通じて理念を共有し、その実践に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	隣近所の人と気軽に声を掛けたり、立ち寄りたりできるような付き合いや町内会に加入で焼肉パーティーなどの町内会行事への参加や地域の防災訓練への参加、子供神輿など参加を通じて地元の人々との交流に取り組んでいる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ホーム長、管理者、職員は、自己評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善を明確にし、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。また、外部評価の結果については運営推進会議で報告されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月毎に定期的開催され、議事録も整備されている。委員は、利用者家族、留萌市職員、町内会役員、ホーム長、管理者で構成されて具体的に取組まれケアサービスの向上に活かされている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市主催の会議参加でホーム情報の発信や包括支援センターとの情報交換、同業者との交流など連携した取り組みが行われている。また、特筆すべき点として、留萌市職員も運営推進会議に参加し、共にサービス向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的に発行する「瓦版福福亭」で、利用者のホーム行事参加の様子など報告しています。また、金銭管理については毎月報告すると共に状態変化時については都度電話連絡など詳細に報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常的に家族の来訪が多く、家族の意見や不安、苦情等を気軽に相談したり、言い表せる機会を設けている。また、家族との意見交換や相談などに関しても納得するまで話し合われ、それらを運営に反映する取り組みが行われている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職率は低く、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように取り組んでいる。また、パンフレットで職員の写真や紹介記事を掲載して家族に情報提供し、共用空間にも掲示している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員間の人間関係も良好でホーム内も明るく利用者に良い影響を与えている。また、職員の資格取得も奨励されて職員を育てる取り組みも行われ、法人内外の研修参加も計画的に実施されている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の会議でのホーム情報の発信や包括支援センターとの情報交換、地域の同業者との交流を通じてサービスの質を向上させる取り組みが行われている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、入居前には、利用者・家族の不安などを解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の下ごしらえや調理、掃除や洗濯物たたみ、散歩や買い物など役割や楽しみごと、気晴らしの支援が行われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向を把握して、散歩や買い物、日光浴やドライブ、食事の準備や調理など本人の意向を尊重した取り組みを実践している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、医師からの情報や本人、家族との話し合い、職員からの意見を取り入れ具体的な介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、現状に即した新たな介護計画を作成している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、通院への送迎や支援など柔軟に行っている。また、家族等のホームでの宿泊も支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者それぞれのかかりつけ医や協力医療機関との連携で日常の健康管理や医療活用の支援をしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から医師、利用者、家族と相談しながら職員で方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけや記録等の個人情報の取り扱いをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にして、その日をどのように過ごしたいか、散歩や買い物、日光浴を楽しんだり花壇の手入れ、お祭り見物をするなど本人の希望に沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の得意料理を披露できる機会を設けている。また、食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者の嗜好を把握して食事のメニューを作成している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、基本的には月・水・金の週3日だが利用者の希望に応じて対応している。また、利用者のその日の状態や好みによってもお湯の温度が選べるように二つの浴槽が用意され景観も配慮されている。		特筆すべき点として、日常的に日光浴が出来る庭や花壇、畑も作られ楽しみごとへの支援や利用者がゆっくり浴槽に入れるようにリフトの設置やお湯の温度が選べるように浴槽も二つ用意され思いや意向に配慮した対応が実施されている。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かしながら食事の下ごしらえや調理、掃除や洗濯物たたみ、散歩や買い物など役割や楽しみごと、気晴らしの支援が行われている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、買い物や散歩、お祭りや子供神輿など町内会行事への参加、戸外でのバーベキュー、花見や増毛までのドライブなど戸外に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解している。また、玄関は不審者侵入防止のため施錠しているが、利用者が外出する時には自ら開錠できるようになっており、利用者・家族に説明し同意も得ている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	留萌市主催の津波避難訓練への参加や消防署の協力を得ながらの火災避難訓練や自主防災訓練の実施など緊急時に速やかに対応ができるように実技を伴う訓練が実施されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食べる量や栄養バランス、具体的な水分・食事摂取量が記録され一人ひとりの状態変化に応じて支援されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭いや音の大きさ、光の強さは感じられない。また、リビングでは利用者が集い、趣味への支援や食事の下ごしらえや準備、調理などの生活音が聞こえて家庭的雰囲気を感じられる。2階やベランダからは日本海が一望できたり、季節の移り変わりが感じられるような工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や仏壇などが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、家族の宿泊も可能となっている。		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。